

-----編集後記-----

◇今月号の巻頭には、ポスト DELP=MULTIER 計画の国内幹事役である地震研究所の瀬野徹三氏に登場して頂きました。瀬野氏には、DELP 計画の終了した今春から寄稿をお願いしてきましたが、多忙ななかこの記事を寄せて下さった事にお礼申し上げます。

◇今月号にも、外国からの寄稿が2編含まれています。杉尾憲一郎氏はブラジルから、そして藤井紀之氏はトルコからです。両氏にもお礼申し上げます。現在、海外滞在中の日本人あるいは日本語で執筆できる外国人あわせて数名の方に寄稿をお願いしております。これらの方々の記事が掲載される日もそう遠くない事でしょう。

◇最近では、地質調査所 OB の方々が、執筆あるいは寄稿者の紹介などで、これまで以上に協力して下さいます。この場を借りてお礼申し上げます。

◇一方で、当所内からの投稿には、右段の規定を充分守っていない原稿が少数ながら依然散見される、という事も指摘しないわけにはいきません。右段の記述 2-7 は編集部としての最低限の要望です。編集委員会は、全ての原稿に目を通し、内容・仕上がり共により良いものが出来るよう努力しているつもりです。投稿にあたっては、右段の規定をもう一度確認して下さい。細かい疑問点は、編集委員会にお問い合わせ下さい。

◇我々としては、誤植や印刷不良をなくすよう努めているのですが、ミスを完全になくすのはなかなか難しいという事もまた毎号実感させられています。読者の皆さんには、お気付きの点あるいは地質ニュースに対するご意見を編集委員会までお寄せ下さるようお願いいたします。ちなみに、9月号には以下の誤り(一部)がありました。訂正いたします。

p. 52 右段 Smithsonian (誤) → Smithsonian (正)

p. 53 右段 PTO (誤) → TPO (正)

◇4-6月号で契約頁数(68)を超過した分を調整するため、9-12月号は総頁数がやや少なくなっております。7-8月号の超過分は、当所予算の一部で補填。

-----副委員長 佐藤 記-----

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース	第435号 1990年11月号
	定価 ¥700 千実費
1990年11月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林久雄
発行所	株式会社実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)265-0951 (代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
総発売元	株式会社実業公報社

©1990 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都中央区錦八重州ブックセンター本店とつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。

地質ニュース編集委員会

委員長：小川克郎

副委員長：佐藤興平・鈴木元元

幹事：磯部一洋・尾上亨

委員：三田直樹・岡村行信・三村弘二・笹田政克・小玉喜三郎・武居由之・山口靖・浦辺徹郎

事務局：総務部業務課広報係

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

1990年11月号